（様式⑦　小学校・中学校・高等学校）　確かな学びと豊かな心･健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】**

堺市立　三国丘小　学校
校　長　安　原　巧

中学校区におけるめざす子ども像　自分も人も大切にできる子どもたち　主体的に考え行動できる子どもたち　～「時を守り　場を清め　礼を正す」ことを通して～

令和８年度　重点目標　～4つの委員会を有効活用して～　◎人材の育成　：　ＯＪＴを通して／チーム力を生かして／同僚性（学校全体）
【研 修 委 員 会】　『根拠をもって伝え合える力』の育成と学びのコンパスを取り入れた探求的学びの融合、ＩＣＴの効果的な活用の研修、人権意識を高め多様性を認め合える教職員集団の形成、幼小／小中のつながる教育
【生活指導委員会 】　暴力やいじめを許さないという人権意識や規範意識の醸成、組織的な早期支援体制の実践
【保 体 給 委 員 会】　狭い運動場を効果的に活用した持続可能な体育・保健教育活動の実践、体力向上、睡眠教育、安全教育、防災教育、食育指導の推進、健康安全な校内環境の整備
【子ども支援委員会】　教育相談を通して学校と保護者をつなぎ「特別支援」「不登校」等への支援を検討

「確かな学び」の現状
令和７年度の「全国学力・学習状況調査」および大阪府の「すくすくｳｫｯﾁ」の結果からは、比較的安定した高い学力が定着していることが確認できた。しかし、根拠をもって、自分の言葉で思いや考えを伝えるという点や授業改善の点では未だ課題が見られる。また「学びのコンパス」の理念実現のため、学びを深める姿の共通理解を図る必要性が高まっている。そこで、今年度の研究主題を「根拠をもって表現する児童の育成～自分の考えをまとめ、伝える姿をめざして～」とし研究授業を行い、実践を通して検証を進めていく。教科は国語・算数を取り上げ、主題に沿った提案が最も効果的に表れる授業場面を取り上げて行う。このような取組を通して、より「確かな学び」の定着を図っていきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状
本校の学校教育目標は「学び合う子　助け合う子　たくましい子の育成」である。高い人権意識を醸成するためにも「相手の立場を思いやり、豊かな心や秩序を重んじる」「社会性を身につけるための規範意識の育成を進める」「いじめを許さないという人権意識の醸成」を中心に指導を行う。豊かな心の育成に必要不可欠なのは、いじめや不登校の早期発見・早期解決である。指導の重点として生活指導委員会や子ども支援委員会を活用し①積極的な生徒指導と不登校対策委員会の積極的な活用、②不登校（傾向のある）子どもの学びの場を確保、③非行防止・犯罪被害防止教室など各種機関との連携を図っていく。「みんいく」「体力向上」も、生活習慣へ働きかけ意識を高めていく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～１０月）		達成状況（年度末） 自己評価		達成状況（年度末） 学校関係者評価	
確かな学び	ＩＣＴ	ICT を活用した各学年で定められた情報活用能力の知識及び技能の習得	ICT を活用した学習展開の工夫をめざし、研修や授業研究に取り組む	・「ﾀﾌﾞﾚｯﾄを活用した授業ができる」の肯定的評価 80%以上	教員ｱﾝｹｰﾄ	12 月	○	これまで 4 回の校内研究授業を行い，授業の中でタブレットを活用する方法についても相互理解，研鑽を深めている。効果的な活用について今後も実践を推進していく。				
			児童１人１台ﾊﾟｿｺﾝ活用推進のため，情報活用能力や情報モラルを育む授業を実施する	各学年での目標について「できている」の肯定的評価 80%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	12 月	○	タブレットの授業活用が進んでいる。必要な時に指導を行うとともに学年ごとに計画的に情報モラル教育を実施している。				
	人権教育	相手の立場にたって自ら考え，行動できる児童の育成	全学年で系統立てた道徳と人権の授業を行い，どの子も安心して学校に通えるように，相手を思いやる気持ちを涵養する	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」の肯定的評価 85%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	12 月	○	担任が入れ替わっての交換道徳授業を実施し，質の高い道徳授業をめざすとともに，人権教育を学年集会等を活用し，実施している。				
	授業づくり	自分の考えや思いを根拠をもって伝えることができる児童の育成（小中一貫ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾃﾞｻﾞｲﾝに基づく）	●★低・中・高学年ごとに定めた伝える力の目標をめざした授業研究に取り組む	「児童が自分の考えを伝えられるように指導方法の工夫を行った」の肯定的評価 80%以上	教員ｱﾝｹｰﾄ	12 月	○	根拠をもって伝える力を育成できるように授業研究に取り組んでいる。研修委員会を中心に学年ごとにふさわしい「伝える力」の育成に努めている。				
			★話し方・聞き方の型を用いて伝える力の基礎の定着を図る	「ｸﾗｽやｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾍﾟｱで話すときは，自分の考えを伝え，友だちの意見もしっかり聞いている」の肯定的評価 80%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	12 月	△	話し方・聞き方の型を用いて伝え方の工夫は行っている。ただし定着度では不十分な点があると感じており，学年毎の発達を考慮した働きかけを考えている。				
			★学校生活全体を通した「伝える場」を設定し，伝える習慣をつける	「学校生活の中でｸﾗｽやｸﾞﾙｰﾌﾟ，ﾍﾟｱで話すことができた」の肯定的評価 80%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	12 月	△	各授業や毎日の生活の中で「話す」「伝える」「交流」することを意識した取組がなされている。「交流による高まり」を期待できる質の高い交流を今後めざしたい。				
豊かな心	豊かな人権感覚	一人ひとりを尊重し，温かい人間関係づくりができる児童の育成	いじめについての正しい知識をもたせ，生活のなかで活かせるようにさせる	「いじめられている子を助けたいと思う」についての項目で肯定的評価 80%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	12 月	○	いじめアンケートなどで子どもの現状をとらえるように努めるとともに，校内研修の実施，校外のいじめ防止研修への参加を促すなどの働きかけを続けている。				
	規範意識	自分も他人も大切にし，率先してあいさつができる児童の育成	●学校のきまりを職員全員が共通理解し，児童に発信することにより，規範意識の醸成を図る	「学校のきまりを守っている」の肯定的評価 80%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	12 月	○	学校のきまりについて生活指導委員会を中心に検討し，職員会議等で周知し，共通理解を図るなどの取組を続けている。				
			教師の率先垂範とあいさつ週間の充実により，あいさつの励行を進める	「学校で先生や友だちに自分から進んであいさつをしている」の肯定的評価 80%以上			◎	毎朝の校長による校門指導や縦割り班によるあいさつ運動，PTA あいさつ運動など多様なあいさつの機会を作り，学校だけでなく地域・保護者への啓発に取り組んでいる。				
健やかな体	健康な体づくり	健康な体づくりを主体的に考え，実践する子どもの育成	●栄養教諭と担任等が連携して食育を行い，食の大切さを知らせ，朝ごはんの定着と給食の残量減をめざす	学校教育ｱﾝｹｰﾄ（保護者）「あてはまる」85%以上 １学期より残量を減らす	学校教育ｱﾝｹｰﾄ 堺市残量調査	1 月 6 月・11 月	○	栄養教諭が中心となり食育が全校で進められており，給食時間の巡回等で給食を楽しんで食べる雰囲気づくりに努めている。				
			児童数増加における運動場の利用制限がある中，児童一人ひとりの体力向上をめざし，「おうち体育」を進める	「おうち体育を使って、体力づくりをしている」の項目での肯定的評価 75%以上	学校教育ｱﾝｹｰﾄ	1 月	◎	HP での画像を使っておうち体育を推奨し，0のつく日を「はよねるデー」として 20 時の一斉メールを 2 年以上継続している。				

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）